

会 議 名	第 1 回高校生学習支援事業業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和 6 年 12 月 18 日（水曜日）午後 4 時から午後 4 時 50 分まで
開催場所	リモート開催
委 員	明治学院大学社会学部教授 金子 充（委員長） 保健福祉支援部長 新宮 弘章（副委員長） 早稲田大学教育・総合科学学術院教育学部教授 三尾 忠男（委員） 上智大学総合人間科学部教授 新藤 こずえ（委員） 保健福祉支援部生活福祉調整課長 大原 裕美子（委員）
事 務 局	生活福祉調整課自立支援担当係長 櫻庭
会議次第	1 開会 2 委員長・副委員長の選出について 3 選考委員会選考スケジュール（案）について 4 事業候補者募集要項（案）について 5 採点基準表（案）について 6 閉会
配付資料	・ 次第 ・ 資料 1 港区高校生学習支援事業業務委託事業候補者選考委員会設置要綱 ・ 資料 2 高校生学習支援事業業務委託事業候補者選考委員会委員名簿 ・ 資料 3 選考委員会選考スケジュール（案） ・ 資料 4 高校生学習支援事業業務委託事業候補者募集要項（案） ・ 別紙 1 仕様書（案） ・ 別紙 2 高校生学習支援事業業務委託事業候補者選考基準（案） ・ 様式 1 質問書 ・ 様式 2 参加表明書兼参加資格審査申請書 ・ 様式 3 共同事業体構成書等 ・ 様式 4 事業者概要及び業務実績 ・ 様式 5 業務従事予定者の経歴及び専任性 ・ 様式 6 業務従事予定者の配置計画及びスケジュール ・ 様式 7 企画提案書① ・ 様式 8 企画提案書② ・ 様式 9 企画提案書③ ・ 様式 10 企画提案書④ ・ 様式 11 プロポーザル参加辞退届 ・ 資料 5 採点基準表（一次審査）（案） ・ 資料 5－2 採点基準表（二次審査）（案）

会議の内容	
事務局	【1 開会】 (事務局より挨拶) (各委員自己紹介) (事務局より委嘱状の交付について説明及び資料の確認) 日程調整により、D委員は書面での参加となっている。意見は事前に確認しているため、後ほど審議の際に伝えることとなる。
事務局	【2 委員長・副委員長の選出について】 (事務局より資料1について説明) 委員長の選出は互選出となるが、立候補される方はいるか。なければ、どなたか推薦はあるか。
A委員	金子委員は学習支援事業の選考委員の経験があるので、推薦したい。
事務局	他に推薦がなければ、金子委員にお願いしたいが、よろしいか。
委員一同	(異議なし)
事務局	異議がないので、金子委員にお引き受けいただきたい。
委員長	(委員長より挨拶)
委員一同	副委員長は委員長の指名となるため、新宮委員を指名したいが、いかがか。
	(異議なし)
委員長	【3 選考委員会選考スケジュール(案)について】
事務局	次第3について事務局から説明を。
	(事務局より資料3について説明)
	D委員からは了承をいただいた。
B委員	スケジュールについて確認したが、私の都合がつかない日がある。後ほど調整ということでよいか。
事務局	各委員に調整させていただく
委員長	【4 事業候補者募集要項(案)】
事務局	次第4について事務局から説明を。
委員長	(事務局より資料4説明)
委員長	募集要項について質問はあるか。
A委員	学習指導について、どの程度のレベルを想定しているのか。
事務局	推薦で大学進学を目指す生徒、一般受験で国立大学を目指す生徒、または外国籍ルーツの生徒や特別支援学校の生徒もいるため、生徒の学習進度を評価し、個別対応に近い形での指導を想定している。
A委員	了承した。

事務局	仕様書の使用教材の項目に I C T 学習教材の活用とあるが、どのような使い方を想定しているのか。
A 委員	学習支援事業は、居場所や人と触れあうということも目的となっているため、I C T 教材に頼り過ぎることなく、大人と接することを含めた提案をしてもらうことを想定している。
A 委員	了承した。
委員長	【5 採点基準表（案）について】
事務局	次第 5 について事務局から説明を。
事務局	（事務局より資料 5 一次審査について説明）
委員長	事務局採点となっている見積額の評価は、今回事業規模に近い提案を行った場合に高い点数としている。これは事業規模で行えるだけの提案をしてもらいたいこと、必要な経費をきちんと見込んでもらいたいことから、このような採点基準とした。
A 委員	採点基準表（一次審査）について質問等はあるか。
事務局	基本方針に「重視する港区の地域特性について」とあるが、審査するにあたり、委員の認識がずれないように、地域特性が分かる資料を事前にいただきたい。
事務局	事務局としては、外国籍の子どもが多いことや、繁華街に近いところで事業を行うなどを考えている。その他資料について、事前にお送りする。
C 委員	事業内容の「相談支援について」確認したい。学校生活、家庭生活、進路等の悩みを的確にアドバイスできるような方法や回数を設定しているか、とあるが、回数とは何を想定しているのか。
事務局	仕様書の相談支援の項目に記載しているが、悩みなどに対応するために適切なアドバイスをするとともに、月 1 回以上、心理カウンセラー等の専門家による心理相談を行うことを求めているため、具体的な提案や心理相談の回数により評価していただきたい。
C 委員	仕様書を読めば、月 1 回以上と明記されているが、提案書の様式 9 についても、回数のことが点数の採点基準になることが分かるよう、工夫した方がよい。
事務局	回数等により評価がかわるため、説明漏れがないよう記載する。
B 委員	居場所としても機能するかどうかを評価するためにも、大事なことはないか。
事務局	学習支援をしっかりとってもらうのはもちろんだか、地域特性を踏まえて、居場所づくりを含めて生活支援を行っている事業所が、評価されるところがあった方がいい。
事務局	了承。
B 委員長	採点基準表の評価係数は、2 倍の項目、3 倍の項目があるが、3 倍の項目は

事務局	重視しているためにポイントが高くなるよう設定しているということか。
B委員	そのように設定している。
事務局	学習支援の中心的なところが3倍になっているので、よいのではないか。 ちなみに、中学生の学習支援事業の採点基準表と同様になっているか。
事務局	若干変更している。仕様書の中身について、具体的に記載してもらうようにしている。
B委員	了解した。
委員長	他に質問はないか。無ければ、二次審査について事務局から説明を。
事務局	(事務局より資料5－2二次審査について説明)
委員長	二次審査について質問はあるか。
委員一同	(質問なし)
委員長	本日の選考委員会全体を通しての質問はあるか。
委員一同	(質問なし)
B委員	都合がつかない日程があるため、スケジュールの再調整を。
事務局	調整し改めて連絡する。
委員長	【5 閉会】 (委員長より閉会の挨拶)～詳細省略～